



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

2021年 7月8日朝刊中部版

記事を読んで、問いに答えなさい。
解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

①折口信夫著『水の女』『一二たなばたつめ』に「たなばたつめとは、たなの機中にある女ということである。銀河の織女星は、さながら、たなばたつめである。年に稀におとнау者を待つ点もそっくりである。」とある。現代の七夕を機織信仰・稀人信仰の視点に於いて考察せよ。



絵馬をイメージした五角形の短冊を使った七夕飾り＝島田市のKADODE O O I GAWA内観光案内所「おおいなび」

大井川鉄道門出駅に直結する島田市のKADODE O O I GAWA内観光案内所「おおいなび」で7日、七夕イベントが始まった。隣接する合格駅など縁起の良い駅名にちなみ、絵馬をイメージした五角形の短冊を使った七夕飾り＝島田市のKADODE O O I GAWA内観光案内所「おおいなび」に、星やだるまをモチーフにした職員手作りの装飾を施した。金色の短冊には「試験に合格したい」「皆が幸せに暮らせよう」などの言葉が並ぶ。短冊に願い事を書いて飾るとテークアウトのドリンクが50円引きになるサービスも用意した。観光コンシェルジュ

絵馬風短冊に願いを

島田観光案内所

②七夕は唐の玄宗のときに盛んに行われた乞巧奠(きっこうでん)が日本に伝わり、宮中行事から庶民に広がるようになった。星の飾り物を装飾する意味を見出すことができるが、星を観察することが古代人にとってどのような意義があったのか、考察せよ。

の山崎知世子さんは「受験シーズンだけでなく年間を通じて合格祈願に訪れる人が多い。縁起を担いで合格、門出に向かつてほしい」と話している。

③「合格駅」にちなむ五角形の短冊は、陰陽道によると木・火・土・金・水の5つの元素の働きの相克を表したものであり、魔除けの呪符としても伝えられている。古代の信仰と現代の地域経済活性化の関連性を考察せよ。

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 実石克巳(静岡高校 教諭)

(高校/国語)

<参考>①＝民俗学、文化学、日本文学に関する問題、②天文学、神話学、歴史学に関する問題、③歴史学、日本文学、民族学、地域経済学、地方行政学に関する問題